

# まちの話題

ISA City Topics 



## 夏イベントの定番「伊佐市夏祭り」

7月27日、大口商店街が夏イベントの代表格である「伊佐市夏祭り」で賑わいました。

祭りは、市内幼稚園・保育園などが参加したお神輿パレードからスタートし、かわいい担ぎ手の威勢のいい掛け声に沿道からも拍手が送られました。

夜の総踊りでは、地域の商店をはじめ、各種露店が立ち並び、それぞれ個性的な衣装で参加した踊り手33団体およそ1500人が祭りを盛り上げ、来場者を楽しませました。

「夏はやっぱり花火です。」

8月3日、湯之尾滝上流の澄んだ夜空に、5000発の花火が打ち上がりました。

天候・風向きすべて良好！どこから見ても最高の眺めでした。

## 「ご当地キャラ総選挙」全国4位！



日本百貨店協会主催の「ご当地キャラ総選挙」に出馬していた市公認キャラクターの「イーサキング」は、決勝投票の結果、各地区代表の7キャラ中4位と健闘しました。

投票にご協力いただいた皆さまありがとうございます。

これからも伊佐市を盛り上げるため、市内だけでなく県内、県外でも各イベント等に参加し、まちのPRに努めます。

イーサキングを見かけたら、声をかけてくださいね。

## 第5回伊佐市戦没者追悼式



68回目の終戦記念日を迎えた8月15日、伊佐市文化会館で第5回伊佐市戦没者追悼式が開かれました。

式では市長が「私たち人類が平和を愛し、心豊かな生活を送ることができる社会を構築するよう努めていくことが責務であります。」と式辞を述べ、恒久平和を願いました。

戦後68年を迎え戦争体験者が減る中、参列者の中には小学生の姿も見られ、戦後生まれの若者たちに平和の尊さと戦争の悲惨さを語り継いでいくことが何よりも大切です。

## サッカー ヴォルカ鹿児島「伊佐デー」開催



伊佐市とヴォルカ鹿児島は、スポーツを通じた「まちづくりの推進に関する協定」を結んで1周年を迎えたことを記念し、ホーム最終戦となった7月28日を、「伊佐デー」と銘打ち、農産物などの販売を行いました。ゲームには伊佐の小学生や高校生がエスコートキッズや運営スタッフとして参加。スタジアムに集まった伊佐の応援団の声援に後押しされたヴォルカ鹿児島は、九州リーグ首位を守る勝利を手にしました。

また、8月には、伊佐市陸上競技場にて2回のトレーニングマッチを行い、最高のプレーで多くの観客を魅了しました。

## 僕らの作ったベンチでゆっくり過ごしてください

8月7日、伊佐農林高等学校木工班の2年生6人が、十曾青少年旅行村に木製ベンチ3脚を贈呈しました。

生徒たちは、学校で伐採実習や製材実習など行う中で「何か役にたつものを作りたい」との思いから、間伐材を利用したベンチ製作に取り組みました。

1脚に3mのヒノキ3本を使い、全行程3時間を要しました。十曾を利用する観光客の皆さんの憩いの場になればとの生徒たちの思いが込められています。



## 安全就業シルバー人材センター 「優良賞」受賞



伊佐市シルバー人材センターは、日頃の安全就業に対する意識の徹底と実践が認められ、平成25年度の全国シルバー人材センター事業協会表彰を九州で唯一、県内では5年ぶりに受賞しました。

## 全国大会へ行ってきます



高松宮賜杯第57回全日本軟式野球大会  
(9月27日～30日開催 富山県)  
大口消防署チーム

## ヤマメの稚魚放流



7月30日、山野川・青木川・市山川の3河川にヤマメの稚魚約17,000尾が放流されました。これは、水産資源の有効活用と河川の健全な生態系を維持するために、伊佐地区内水面活動組織が行ったものです。稚魚が育つ美しい川を大事に見守りながら、地域の環境保全と美化に努めましょう。

## 練習の成果を発揮し堂々の戦い



(敬称略)

- ・JOC杯全国中学生カヌー大会
- ・B&G杯全国少年少女カヌー大会  
(7月24日～30日開催 山梨県)

写真前右から

二渡卓磨 (菱刈中2年)  
植木春華 (湯之尾小2年)  
植木一喜 (湯之尾小4年)

写真後左2人目から

大森愛 (湯之尾小6年)  
道地慶季 (菱刈中2年)  
植木ともえ (伊佐カヌークラブ コーチ)



- ・平成25年度九州中学校空手道競技大会  
(8月3日、4日開催 沖縄県)

写真後左から

林大日 (大口中2年)  
福原舞 (菱刈中2年)  
石原香鈴 (菱刈中2年)  
告田瑠奈 (聖武館湯之尾指導員)

写真前右

永池舞衣 (菱刈中1年)

- ・第13回全日本少年少女空手道選手権大会  
(8月10日、11日開催 東京都)

写真前左から

島子颯晟 (本城小6年)  
島子楓也 (本城小5年)